



2016年



2021年

A 提供：福岡市



2024年

B 1



B 2



B 3



2015年

C

硫黄島

俊寛の見た風景（日宋貿易）

平家物語には俊寛の目を通して、硫黄島の住民が九州の商人に硫黄鉱石を売る様子が描かれている。日本の中世後半以前の硫黄の交易状況をj知る史料は、この俊寛のj説話程度だったが、近年、詳しくその様子がj知れる遺物が見つかった。

A 2018年に福岡県博多区jの冷泉（れいせん）小学校跡地で、11世紀〜12世紀半頃のj日宋貿易に使われた港の石積が発見され、その周囲から硫黄島産とみられる硫黄塊が複数発見された。

硫黄島産の硫黄鉱は、九州西側の航路で一旦博多の港に集められ、そこで宋行きjの船に乗って中国へ輸出されたと推定される。

石積から6m先に藻類の化石があるため、その辺りが波打ち際とわかった。おそらく硫黄塊は、その手前で積荷中にこぼれ落ちたようだ。そして、奇跡的に落ち葉などの有機質の堆積物に埋めることで分解されずに残った。硫黄はもろく、土の中では1週間ほどで硫酸酸化菌に分解される。

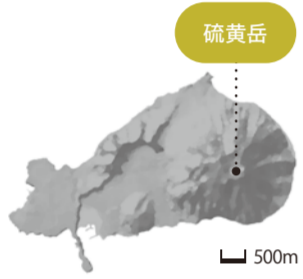
B 今回、福岡市埋蔵文化センター1でその硫黄を見せもらった。

また、硫黄と共に生成される珪化岩の出土もあることから、噴気孔の形で運ばれたと推測される。火薬は宋の時代に軍事利用がはじまったが、宋の支配域には十分な量の自然硫黄がなかった。そのため海外に硫黄を求めて交易ルートが形成された。今回の発見で、硫黄島は約1000年も前に国際交易網の一端であったことが明らかになった。

思い出話

「硫黄が発掘されたので専門家に分析を依頼しましたが、古い硫黄が土中に残るはずがないと、はじめは信じてもらえませんでした。」

福岡在住 50代男性



3

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	1 ●
						旧 2/2
2 ●	3 ●	4 ●	5 ●	6 ●	7 ● 上弦	8 ●
旧 2/3	旧 2/4	旧 2/5	旧 2/6	旧 2/7	旧 2/8	旧 2/9
9 ○	10 ○	11 ○	12 ○	13 ○	14 ○ 満月	15 ○
旧 2/10	旧 2/11	旧 2/12	旧 2/13	旧 2/14	旧 2/15	旧 2/16
16 ○	17 ○	18 ○	19 ○	20 ● 春分の日	21 ●	22 ● 下弦
旧 2/17	旧 2/18	旧 2/19	旧 2/20	旧 2/21	旧 2/22	旧 2/23
23 ●	24 ●	25 ●	26 ●	27 ●	28 ●	29 ● 新月
旧 2/24	旧 2/25	旧 2/26	旧 2/27	旧 2/28	旧 2/29	旧 3/1
30 ●	31 ●					
旧 3/2	旧 3/3					